

# 核なき世界へ どう進むか

## 核軍縮に逆行する トランプ核戦略

歴史的なブラハ演説で「核なき世界」をめざすと強調した米国のオバマ前大統領は、広島訪問も実現して、核兵器に依存しない平和と安全の大切さを説いた。後任のトランプ大統領は逆に、安全保障政策での核兵器の役割を高め、「使える核」の導入にも意欲を見せている。この流れを止め、ブラハ演説が掲げた目標を人類共通のものにしていくにはどうすればいいのか。オバマ大統領の側近だった専門家の解説、意見を聞ける貴重な機会です。



講師 **ジョン・ウォルフスタール**さん  
米国オバマ政権・核政策担当大統領特別補佐官

### プロフィール

ロシアとの核削減交渉や、オバマ氏が「核兵器のない世界」を訴えた2009年のブラハ演説、10年の核態勢見直し(NPR)作成、15年のイランとの核合意、16年の広島訪問、などに携わった。現在は、非核世界をめざすシンクタンク「グローバルゼロ」の核危機グループの座長を務めている。

同時通訳付  
**入場無料**  
事前申込不要

# 2018 8/24 金

**時間** 18:00 ~ 19:30  
**場所** 長崎大学文教キャンパス  
グローバル教育・学生支援棟3階 G38番教室  
**主催** 核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC)  
〒852-8521 長崎市文教町 1-14  
**TEL** 095-819-2252 FAX: 095-819-2165  
**URL** <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu>  
**共催** 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

長崎大学文教キャンパス

グローバル教育・学生支援棟3階 G38番教室



核兵器廃絶  
長崎連絡協議会  
PCU-Nagasaki Council



長崎大学